

【 診療科:乳腺外科 】
【 レジメン登録番号:SB-45 】

〈 Pembrolizumab+PTX+CBDCA療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール (day)													
			1	2	3	4	5	6	7	8		15		21		
キイトルーダ	200mg/body	div	○													
パクリタキセル	80mg/m ²	div	○							○						
カルボプラチン	AUC: 5	div	○													

【1コース期間: 21 日】 【総コース数: 4コース※¹】

【適応癌種: 乳癌(TNBC) 】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

<day1>		
Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	キイトルーダ 200mg/body	div(30分で)※ ⁴
	生理食塩水 100mL※ ²	
Rp.2	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.3	ボラミン 5mg	div(全開で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.4	デキサート 6.6mg※ ³	div(30分で)
	5-HT ₃ R Blocker 1A	
	H2 blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.5	パクリタキセル 80mg/m ²	div(60分で)※ ⁴
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.6	カルボプラチン (AUC:5) × (GFR+25)	div(60分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.7	生理食塩水 50mL	div(全開で)

<day8,15>		
Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ボラミン 5mg	div(全開で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.2	デキサート 3.3mg	div(30分で)
	H2 blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.3	パクリタキセル 80mg/m ²	div(60分で)※ ⁴
	5%ブドウ糖液 250mL	

【参考文献: N Engl J Med.2022;386:556-67、キイトルーダ点滴静注添付文書 】

【備考:①※4コース終了後、Pembrolizumab+EC療法へ移行する。 】

【備考:②※最終濃度が1~10mg/mLとなるように調製すること。 】

【備考:③※アプレビタント使用しない場合は、デキサートの投与量を13.2mg/回へ倍量にする。 】

【備考:④※インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を用いて投与すること。 】